

富谷小だより

渋谷区立

富谷小

学校通信

挨拶の役割

新年度が始まり1か月がたちました。保護者、地域の皆様のご協力もあり、順調なスタートを切ることができました。

先日、天文に詳しい人から「北極星は変わるんだよ。」という話を聞きました。

調べてみると北極星は天の北極に一番近い星のことで、現在の北極星は、こぐま座のポラリスだそうです。そして、地球の地軸の傾きが少しずつ変わることによって、地球上から見える、天の北極に一番近い星に代わり、西暦4000年頃にはケフェウス座のエライという星になるそうです。その後、いくつかの交代を経て、西暦26000年頃にこぐま座のポラリスに戻るそうです。

この「北極星は特定の星の名前ではなく交代制」の話は、天文に詳しい人の中では有名なことだそうです。しかし、私にとっては「何のこと?」「北極星は北極星でなければ何になる。」と興味をもちました。そして、この出来事をきっかけに星座の話やプラネタリウムの投影方法など、これまであまり興味のなかった内容まで調べていました。

今年度から「シブヤ未来科」の時間数が増えました。本校は午前中を中心に教科学習を行い、火・木・金曜日の午後は「シブヤ未来科【探究の時間】」として活動を進めていきます。

探究の時間では教科で学んだこと、地域や社会から学んだこと等を生かして、最終段階では、自ら内容を決めて活動していきます。これのためには普段から子供の興味・関心を広げ

副校長 武内 伸輔
ていく必要があります。それは保護者や地域の方たち、周りの大人の何気ない会話や行動から広がることも多くあるように感じています。

保護者、地域の皆様と新しい「シブヤ未来科」を共ににつくっていきたいと思います。

5年生が昨年度のシブヤ未来科で「地域のよさを守ろう」という取組をしました。

5月26日(日)に代々木八幡宮で行われる金魚まつりで、代々木八幡宮の魅力や歴史を紹介する団扇やキーホルダー、チラシを配布します。

学校運営協議会について

本校は「地域と共にある学校」として、学校運営協議会を設置しています。

委員には青少年対策地区委員、地域学校協働活動推進員、本校元校長、町会長、同窓会代表、学校医、PTA代表などの方がいらっしやいます。そこに本校の校長・副校長・主幹教諭が参加し、協議会を構成しています。

協議会では児童や地域の実情に応じたよりよい学校づくりにおいて必要な支援についてなどの協議を行っています。

